

科目名	単位数	学年配当	開講形態	教員名
障害者福祉論（通オン開講）	2	1	通年開講	綿 祐二
テーマ	障害者に対する支援をミクロ、メゾ、マクロの視点でとらえ、障害者施策、支援、態度、方向性について学ぶ。			
科目のねらい				
<p>【キーワード】障害の理解、障害福祉の基本理念、障害福祉の歴史、障害者総合支援法、障害者の社会参加</p> <p>【内容の要約】本講義は、障害者に対する支援をミクロ、メゾ、マクロの視点でとらえ、障害者施策、支援、態度、方向性について学ぶ。</p> <p>●障害者福祉施設で相談援助業務に従事し、かつ社会福祉法人理事長である教員が、障害者福祉現場における課題や人材養成に関する講義を行う。</p> <p>【学習目標】</p> <p>障害者施策の歴史の変遷を学び、その背景にある理念、生活実態、課題を理解し、目指すべき障害支援について考察できる。</p> <p>障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の理解と障害者の自立支援について理解することができる。</p> <p>障害者に対するソーシャルワーク実践や相談援助活動において必要となる専門職の役割、社会資源の活用、ネットワークについて理解することができる。</p>				
授業のながれ				
<p>第1講 障害の理解</p> <p>第1章 「障害者福祉論」の概要</p> <p>第2章 障害の理解と各福祉法における障害者の定義</p> <p>第3章 ICDH から ICF への転換</p> <p>第2講 障害者の生活と実態</p> <p>第1章 障害者の状況について</p> <p>第2章 障害者の就労の実態</p> <p>第3章 障害者白書 27 年度版から見る障害者の生活課題</p> <p>第3講 障害福祉の歴史</p> <p>第1章 障害福祉の概念</p> <p>第2章 ノーマライゼーション</p> <p>第3章 その他の障害福祉の基本理念</p> <p>第4講 障害福祉の基本理念</p> <p>第1章 国際的な障害福祉の歴史①</p> <p>第2章 国際的な障害福祉の歴史②</p> <p>第3章 日本の障害福祉の歴史</p> <p>第5講 障害福祉の実践</p> <p>第1章 障害者のケアマネジメント</p> <p>第2章 権利擁護の視点</p> <p>第3章 障害福祉のネットワーク</p> <p>第6講 障害福祉の法体系</p> <p>第1章 障害福祉の法体系① -障害者基本法第2章 障害福祉の法体系②</p> <p>第3章 障害福祉の取り組み</p> <p>第7講 障害者総合支援法の概要</p> <p>第1章 障害者総合支援法の概要</p> <p>第2章 障害者総合支援法におけるサービス</p> <p>第3章 障害者総合支援法におけるサービス利用手続き</p> <p>第8講 障害者総合支援法における変更点</p> <p>第1章 障害者総合支援法 2018年度改正①</p> <p>第2章 障害者総合支援法 2018年度改正②</p> <p>第3章 “高齢障害者”について</p> <p>第9講 障害者総合支援法における専門職の役割</p> <p>第1章 専門職の役割</p> <p>第2章 専門職との連携</p> <p>第3章 相談支援事業所の役割</p> <p>第10講 障害者総合支援法における役割</p> <p>第1章 障害者総合支援法における相談支援</p> <p>第2章 国・市町村・都道府県の役割</p> <p>第3章 利用者負担について</p> <p>第11講 障害福祉にかかわる組織および団体の役割</p> <p>第1章 障害者の就労について</p> <p>第2章 障害者に対する教育について</p> <p>第3章 その他障害福祉にかかわる機関</p> <p>第12講 身体障害者・知的障害者・障害児福祉施策の概要</p> <p>第1章 身体障害者福祉及び知的障害者福祉施策</p> <p>第2章 障害児福祉の施策</p> <p>第3章 その他の関連施策</p> <p>第13講 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、発達障害者支援法の概要</p> <p>第1章 精神保健福祉の歩み</p> <p>第2章 精神障害者福祉施策の概要</p> <p>第3章 発達障害者支援法の概要</p> <p>第14講 障害者の社会参加</p> <p>第1章 障害者差別解消法と障害者優先調達推進法</p> <p>第2章 障害者虐待防止法の概要</p> <p>第3章 バリアフリー法、ユニバーサルデザイン</p> <p>福祉経営学部医療・福祉マネジメント学科（通信教育）</p> <p>第15講 障害者福祉論のまとめ</p> <p>第1章 今後の障害者政策</p> <p>第2章 総括（これからの学習）</p>				

準備学習の内容・学ぶ上での注意		事前事後学習		
<p>本科目は、障がいのある方々に関する理解が求められ、ライフステージの違いに伴う支援や施策の違いについても理解が求められます。8050 問題といった社会にある問題を考えることや、個人のライフステージを繋ぐ支援のあり方についてイメージを持ちながら学びを深めるようにしてください。教材内には確認テスト、小テストが設けられています。小テストは、80%以上の正答率で合格となります。</p> <p>【本科目の関連科目】</p>		事後	確認テスト、小テストに取り組む。	8 時間
		事後	興味をもった講に関して学習を深める。	10 時間
				時間
成績評価の方法				
期末試験（筆記・Web・レポート・最終授業内） 100% 授業内でのレポート・課題等 0% その他 0%	すべての講義コンテンツを視聴し、すべての小テストに合格後に受験する科目修了試験により合格を判定する。評価基準は、A（100～80 点）、B（79～70 点）、C（69～60 点）を合格、D（59 点以下）を不合格とする。すべての講義コンテンツを視聴し、すべての小テストに合格後に受験する科目修了試験により合格を判定する。評価基準は、A（100～80 点）、B（79～70 点）、C（69～60 点）を合格、D（59 点以下）を不合格とする。			
テキスト				
<input type="checkbox"/> テキストを利用する <input checked="" type="checkbox"/> レジューメを使用する <input type="checkbox"/> 未定（最初の授業で指示する）				